

トヨタ L&F

レンタル車両管理システム

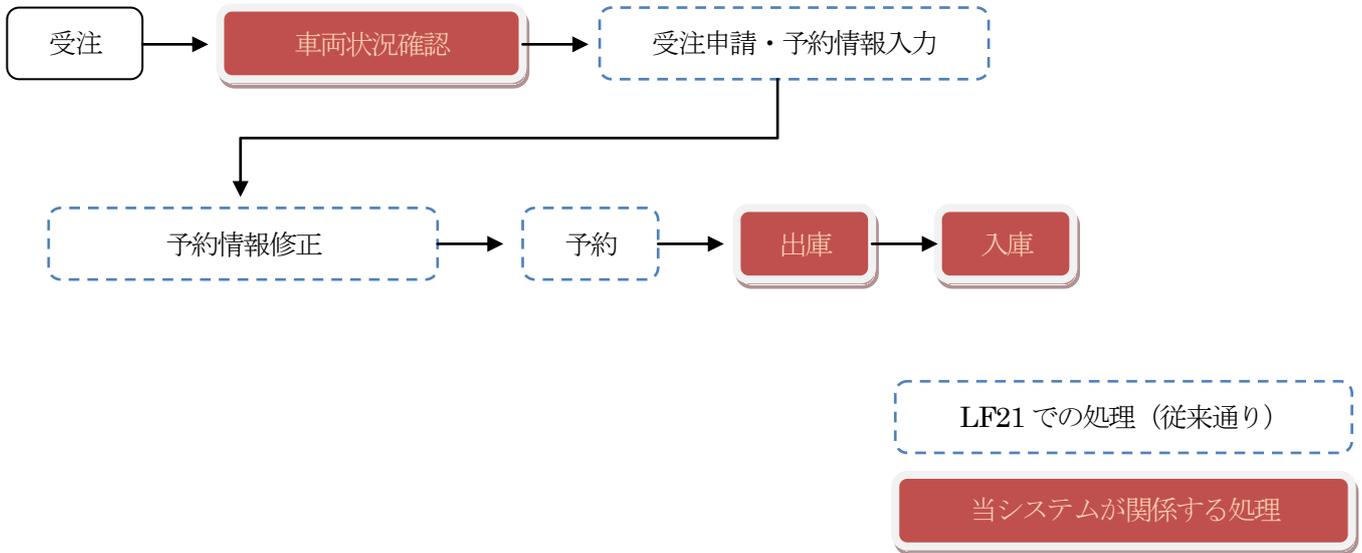
運用マニュアル

内容

1. 簡易業務フローとシステム概要	- 2 -
(1) 簡易業務フロー	- 2 -
(2) システム概要	- 2 -
2. バーコードリーダー (BHT 端末) での処理	- 3 -
(1) キー説明	- 3 -
(2) 基本操作	- 4 -
(3) 画面構成と説明	- 4 -
(4) その他	- 6 -
3. Web ページでの処理	- 7 -
(1) Web ページについて	- 7 -
(2) 各種機能	- 7 -
< 2-1 > ログインを行う	- 7 -
< 2-2 > 機台の状態を確認する	- 8 -
< 2-3 > 条件を入力し、特定の機台の状態を確認する	- 9 -
< 2-4 > 機台の詳細を確認する	- 9 -
< 2-5 > 予約を行う	- 10 -
< 2-6 > 入出庫の履歴を確認する	- 11 -
< 2-7 > 各種帳票を表示する	- 12 -
< 2-7-1 > 入庫点検票を確認する	- 12 -
< 2-7-2 > 出庫点検票を確認する	- 13 -
< 2-7-3 > LF21 で入力されたデータのエラーをチェックする	- 13 -
< 2-7-4 > 年次検査を行う機台を確認する	- 14 -
< 2-7-5 > 月次検査を行う機台を確認する	- 15 -
< 2-7-6 > 稼働実績を確認する	- 16 -
< 2-8 > 当システムの運用管理を行う	- 17 -
< 2-8-1 > ログインユーザの管理を行う	- 17 -
< 2-8-2 > 各営業所で使用する BHT 端末を管理する	- 18 -
< 2-8-3 > 機台情報を修正する	- 18 -
< 2-8-4 > LF21 に入力されている最新情報を取得する	- 19 -
4. 中継プログラム (LFRelayBHT) での処理	- 20 -
(1) 概要	- 20 -
(2) 画面構成と機能	- 20 -
5. その他	- 22 -
(1) システムの環境	- 22 -
(2) BHT 端末を接続する PC の設定	- 22 -
(3) BHT 端末の設定	- 23 -
6. FAQ	- 24 -
(1) バーコードリーダー (BHT 端末) に関して	- 24 -
(2) Web ページに関して	- 25 -
(3) 中継プログラム (LFRelayBHT) に関して	- 26 -
(4) その他	- 26 -

1. 簡易業務フローとシステム概要

(1) 簡易業務フロー



(2) システム概要

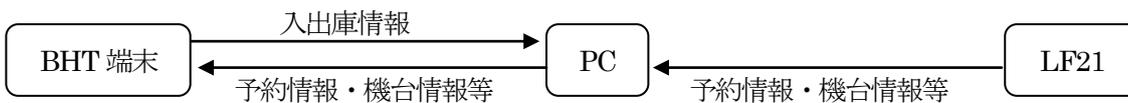
当システムはレンタル車両の入出庫管理を行うことを目的としたものです。

入出庫の管理にはバーコードリーダーとして BHT 端末（以下 BHT 端末）、運用状況の確認のため Web ページを使用します。

また、BHT 端末から入力されたデータを処理するために PC が必要となります。この PC には以下のプログラム（サービス）がインストールされます。

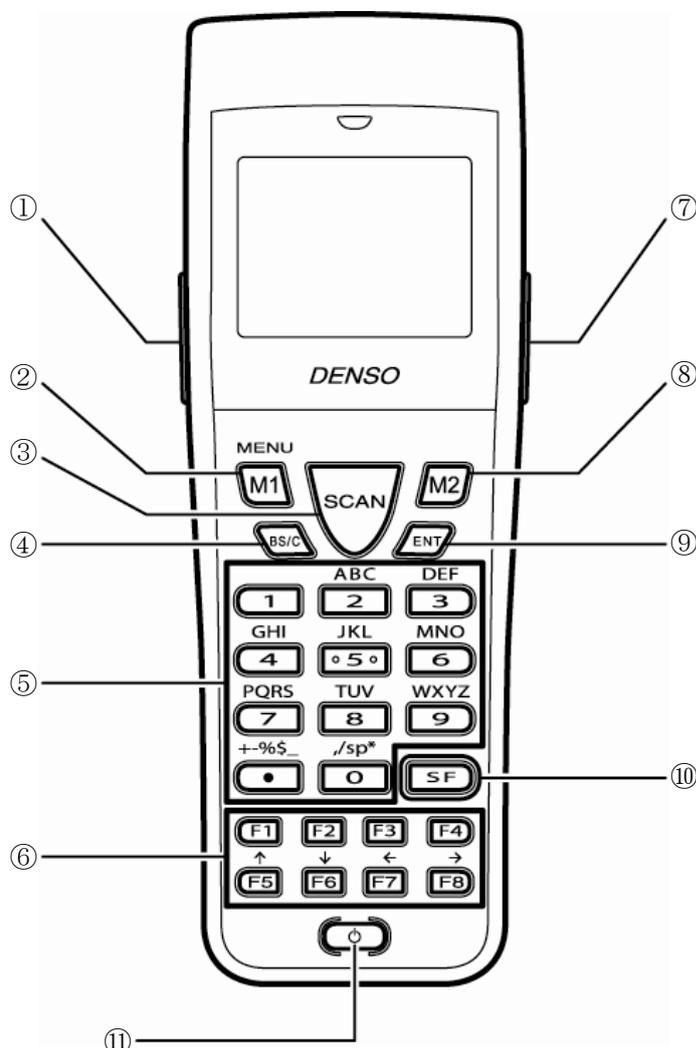
- LFRelayBHT → BHT 端末と PC の間でデータの送受信を行うプログラム
- LFRelayDownloader → LF21 から予約情報等のデータを PC までダウンロードするサービス
- LFRelayUploader → PC から LF21 へ入出庫情報等のデータをアップロードするサービス

当システムの流れ



2. バーコードリーダー（BHT 端末）での処理

(1) キー説明



No	名称	機能と概要
①⑦	トリガスイッチ	バーコードをスキャンします。
③	スキャンキー	どのキーも同じ動作です。
②	マジックキー (M1)	長押しで BHT 端末の設定ができます。 設定できる項目 ・ブザー音量、バイブレータ、画面の明るさ、省電力
④	バックスペース/クリアキー	手入力の際、文字を消去します。 長押しで全文字消去も可能です。
⑤	数字キー	手入力の際、使用します。
⑥	ファンクションキー カーソルキー	ファンクションキーとしては使用しませんが、項目を選択する際のカーソルキーとして使用します。
⑧	マジックキー (M2)	使用しません。
⑨	ENT (エンター) キー	入力の確定に使用します。
⑩	SF (シフト) キー	手入力の際、数字とアルファベットの入力切替えに使用します。
⑪	電源キー	電源のオン/オフに使用します。

(2) 基本操作

カーソルキーかメニューについている数字を数字キーで選び、**ENT** キーを押すことで項目を選択します。10 秒間操作をしないとバックライトが消灯します。(BHT 端末の設定：省電力 で時間の設定ができます) 3 分間操作をしないと自動で電源が切れます。

(3) 画面構成と説明

利用者確認

1. 前回と同じ：XXXXXX
2. 番号入力
9. 終了

○利用者確認

BHT 端末を利用する方のログイン ID を入力してください。

1. 前回利用した方が引き続き利用する場合選択してください。
2. 利用する方が変わる場合選択してください。
9. 処理を終了して BHT 端末の電源を切ります。

メインメニュー

1. 入出庫処理
2. 修理処理
3. 登録情報の確認
4. 最新の情報に更新
9. 終了

○メインメニュー

行いたい処理を選択してください。

1. 入出庫処理を行う場合に選択してください。
2. 修理の為の入庫、修理の終了を行う場合に選択してください。
3. BHT 端末で読込んだデータを確認できます。
4. BHT 端末で読込んだデータを PC に送り、新しい予約情報を取得します。
9. 処理を終了して BHT 端末の電源を切ります。

入出庫処理

(scanして下さい)

1. 入力完了
2. 手入力

○入出庫処理

実際の入出庫処理です。

番号を選択せずスキャンキーかトリガスイッチを押すとバーコードを読み込みます。

1. 入出庫処理を終了し、メインメニューに戻ります。
2. バーコードが読めない時に手入力を行えます。

修理処理

(scanして下さい)

1. 入力完了
2. 手入力

○修理処理

修理の為に入庫を行う際 (入庫している機台を修理の状態にする場合も) または修理が終了した場合にその機台を入力してください。

番号を選択せずスキャンキーかトリガスイッチを押すとバーコードを読み込みます。

1. 修理処理を終了し、メインメニューに戻ります。
2. バーコードが読めない時に手入力を行えます。

手入力
ENT : 入力終了
SF : 数⇔英入力切替
>>

○手入力
バーコードが読めない時に手入力を行えます。

SF キーを押すと数字の入力と英字の入力を切り替えられます。
(一記号は英字入力モードで入力してください)
BS/C を押すと一文字消去できます。
BS/C を長押しすることで全文字消去できます。
入力が終了しましたら ENT キーを押して下さい。

※存在しないフレーム No は入力できません

確認
2HFW9-90665
リフター
1. 入庫
2. 検査の為の入庫
3. 営業所間の移動入庫
4. キャンセル

○確認 (入庫予定の機台のバーコードを読み込んだ場合)
読込んだバーコードを確認し、処理の種別を選択してください。

1. 通常の入庫処理の場合選択してください。
2. 検査の為に入庫する場合選択してください。
3. 営業所間で機台を移動し入庫する場合選択してください。
4. 確認処理を終了し、入出庫処理に戻ります。
(読込んだバーコードは保存されません)

確認
2HFW9-90665
リフター
1. 出庫
2. 検査後の出庫
3. 営業所間の移動出庫
4. キャンセル

○確認 (出庫予定の機台のバーコードを読み込んだ場合)
読込んだバーコードを確認し、処理の種別を選択してください。

1. 通常の出庫処理の場合選択してください。
2. 検査の後、出庫する場合選択してください。
3. 営業所間で機台を移動し出庫する場合選択してください。
4. 確認処理を終了し、入出庫処理に戻ります。
(読込んだバーコードは保存されません)

確認
2HFW9-90665
リフター
予定にない入出庫です
処理を行いますか?
1. 処理を行う
2. キャンセル

○確認 (入出庫予定のない機台のバーコードを読み込んだ場合)
読込んだバーコードを確認し、処理の種別を選んでください。

1. 予定にはなくても入出庫処理を行う場合選択してください。
2. 確認処理を終了し、入出庫処理に戻ります。
(読込んだバーコードは保存されません)

※1. を選択した場合、処理内容を入力する画面が表示されますので画面に従って処理内容を入力してください。

確認
2HFW9-90665
リフター
1. 修理の為の入庫
2. キャンセル

○確認 (修理中ではない機台のバーコードを読み込んだ場合)
読込んだバーコードを確認し、処理の種別を選んでください。

1. 修理の為の入庫を行う場合選択してください。
入庫後、修理を行う場合もこのメニューを選択してください。
2. 確認処理を終了し、修理処理に戻ります。
(読込んだバーコードは保存されません)

確認

2HFW9-90665

リフター

1. 修理終了
2. キャンセル

○確認（修理中の機台のバーコードを読み込んだ場合）
読込んだバーコードを確認し、処理の種別を選んでください。

1. 修理の終了を行う場合選択してください。
2. 確認処理を終了し、修理処理に戻ります。
(読込んだバーコードは保存されません)

※こらの処理を行ったフレーム No を再度読み込むと以前に行った処理のキャンセルが行えます

(4) その他

BHT 端末で読み取った入出庫情報は **5分に1回自動でPCに転送**されます。

その際、BHT 端末が CU（充電器を兼ねた BHT 端末のスタンド）に正しくセットされ、BHT 端末の電源が切れている状態でないと転送が行えません。バーコードの読み取りが済みましたら、**BHT 端末の電源を切り、CUに戻して**下さい。

※転送に失敗した場合も更に 5分経過した時に再度転送されますので戻しておいて下さい

3. Web ページでの処理

(1) Web ページについて

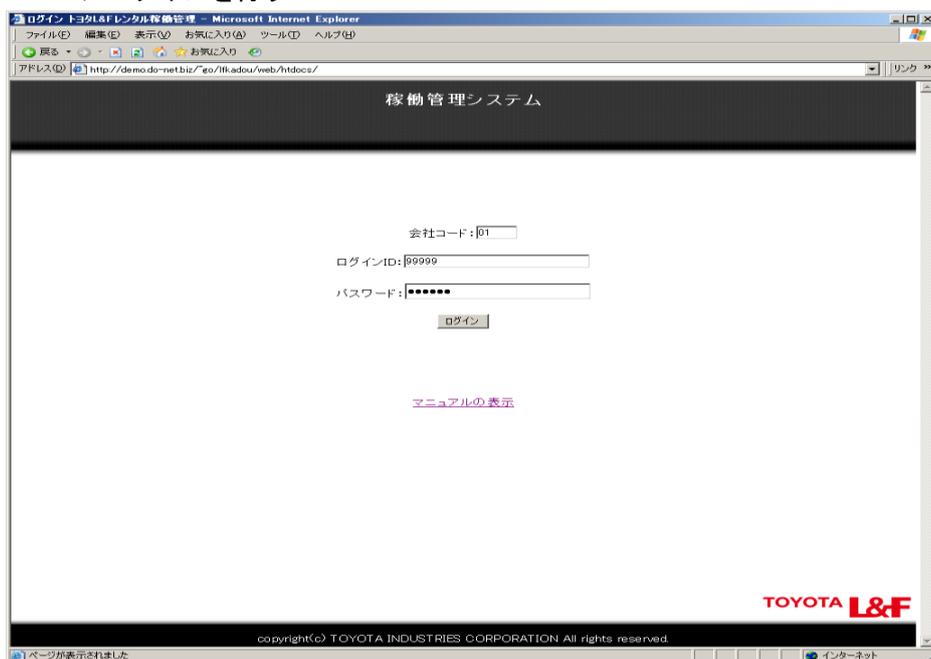
ブラウザでアクセスし、入在庫の状況を確認することができます。

(URL <http://10.133.144.248/>)

ログイン ID、パスワードは普段 LF21 で使っているものと同じものを使用してください。
使用できる機能については役職によって制限があります。

(2) 各種機能

<2-1>ログインを行う



一番最初に表示される画面です。

会社コードが"01"になっていることを確認し、ログイン ID とパスワードを入力後「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ログイン ID、パスワードは普段 LF21 で使っているものと同じものを使用してください。

また、「マニュアルを表示」リンクをクリックすると、当マニュアルを表示することができます。

<2-2>機台の状態を確認する

型式	フレームNo.	状態	口ク	入庫予定	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
02-7FD450	7FD450-30841	予約	本部	2011/10/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-7FD450	7FD450-30971	待機中	本部	2011/09/30	備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FD25	8FD25-10436	戻予約	本部	2011/10/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	備	工	備		
02-8FD25	8FD25-30066	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FD25	8FD25-30092	戻予約	本部	2011/10/25	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	-	
02-8FD25	8FD25-30101	予約	本部	2011/10/13	-	-	-	備	工	備	備	備	備	工	工	工	備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FD25	8FD25-30234	待機中	本部	2011/10/13	-	-	-	-	-	備	備	備	備	工	工	工	備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FD25	8FD25-30298	予約	本部	2011/10/31	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	戻	
02-8FD25	8FD25-31262	待機中	本部	2011/07/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FDL10	8FDL10-30304	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FDL15	8FDL15-10424	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FDL15	8FDL15-30151	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FG15	8FG15-10261	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FGA20	8FGA20-10354	待機中	本部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
02-8FGL15	8FGL15-11311	予約	本部	2011/10/22	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	

ログイン後表示される画面です。画面上部「ホーム」をクリックすることでも表示されます。

「ホーム」にマウスを合わせると「自社保有」「借物件」「備品」を選択できます。

※「ホーム」をクリックして表示されているページは「自社保有」です
機台のフレーム No、型式、状態、最終ロケーション、入庫予定が確認できます。

その右側にはカレンダーがあり、日付ごとの状態が確認できます。

更にフレーム No をクリックすることでその機台についての詳細を表示することができます。（<2-4>参照）

また、カレンダーをクリックすることでサービス代車、新車代車、デモの登録ができます。（<2-5>参照）

※カレンダー部分に表示される文字

- : 待機中
- 仮 : 仮予約中（所長承認前の予約）
- 予 : 予約中
- 出 : 出庫中
- 備 : 出庫の予備日（入出庫の前後1営業日ずつ）
- 検 : 検査中
- 修 : 修理中
- 移 : 営業所間での移動中
- エ : エラー出庫
- 新 : 新車代車の予約中
- サ : サービス代車の予約中
- デ : デモ車の予約中
- 他 : その他の予約中

<2-5>予約を行う

予約情報登録フォーム

ホーム 機台検索 入出庫履歴 各種帳票 マスタ管理 ログアウト

ユーザ名: Do-Net (本部)

フレームNo.:	8FD25-30998	入力担当者:	Do-Net (本部)
J番号:		型式:	02-8FD25
代車等区分:	[新車代車]		
貸出:	担当者 [010 清水 美帆]		[検索]
	貸出先 [000466000 下関タイヤ産業]	[下関]	[検索]
	※ 検索すると貸出先が表示されます		
予約期間:	[2011/11/03] - [2012/01/04]		
備考:	[新車代車対応車 23年3月。 ×××が営業店別]		

[登録]

TOYOTA L&F

copyright (c) TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION All rights reserved.

"機台一覧"、"機台検索"の検索結果または"機台詳細"のカレンダー部分をクリックすると表示されます。
ここでの予約は"サービス代車"、"新車代車"、"デモ"、その他のみです。

通常の予約は **LF21** で入力してください。

必要項目を入力し「登録」ボタンをクリックしてください。

※全て必須項目です。全項目を入力後、登録を行ってください。

(契約期間についてはクリックして表示されるカレンダーから日付を選択してください)

<2-6> 入出庫の履歴を確認する



画面上部「出入庫履歴」をクリックすることで表示されます。

BHT 端末で読込まれた入出庫情報を表示します。

右側部分に条件を設定し、表示されるデータを制限できます。

(条件に入力するデータは語句の一部だけでも検索できます)

「出入庫履歴」にマウスを合わせると「自社保有」「借物件」「備品」を選択できます。

※「出入庫履歴」をクリックして表示されているページは「自社保有」です

※「借物件」については”新規出入庫履歴の登録”が行えます



<借物件の新規出入庫履歴の登録画面>

＜2-7＞各種帳票を表示する



画面上部「各種帳票」をクリックすることで表示されます。

各帳票名をクリックすることでそれぞれの機能を使用することができます。

(画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせると各項目を直接呼び出すことができます)

＜2-7-1＞入庫点検票を確認する



"各種帳票"の「入庫点検票」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「入庫点検票」をクリックしても表示されます)

翌営業日に入庫予定の機台が表示されます。

<2-7-2> 出庫点検票を確認する

最終ロケーション	出庫予定日	契約開始日	フレームNo.	フォーク長	Fタイプ	Rタイプ	サヤ装着	Jナンバー	担当スタッフ名	貸出お客様名	貸出開始月	貸出開始日	貸出終了日
本部	2011-10-07	2011-10-09	3FD116-10227	0					向島 浩亨	すぎほら	10	07	09
広島	2011-10-07	2011-10-08	8FDL18-30152	1370					向島 浩亨	オートテック	10	07	10
本部	2011-10-07	2011-10-08	8FDL18-30155	1370					向島 浩亨	オートテック	10	07	10
浜田	2011-10-06	2011-10-05	508FD26-16389	920					村上 直樹	ライト	10	05	06
本部	2011-10-06	2011-10-06	8FD26-30101	1520					向島 浩亨	澤池運送	10	06	06
本部	2011-10-07	2011-10-07	ASF070-12436	0					田島 昭彦	ニコンビジネスサービ	10	07	07
本部	2011-10-07	2011-10-07	508FDJ35-13506	1070					田島 昭彦	ニコンビジネスサービ	10	07	07
本部	2011-10-07	2011-10-07	2FD150-10001	0					田島 昭彦	ニコンビジネスサービ	10	07	07
本部	2011-10-06	2011-10-06	8FDL26-30632	1070					上野 満	トヨタルF高庫	10	06	31
備北	2011-10-06	2011-10-06	8FDL19-30526	1070					金子 秀明	フロックスディー	10	06	06
広島	2011-10-06	2011-10-06	7FBRT15-26086	1070					高橋 倫	中国日立物流	10	06	06
西条	2011-10-05	2011-10-05	403FG9-11642	0					出雲 丈士	住野工業	10	05	04
	2011-10-05	2011-10-05	8FDL16-30625				サヤフォーク1620		江上 正博	日本通運	10	05	05
	2011-10-06	2011-10-06	8FD26-13501						岡田 祐志	サンコー産業	10	06	31
	2011-10-06	2011-10-06	3JD26-10052	0				J-276	光本 聡	水電リース	10	07	07
	2011-10-06	2JD26-10093	0		ノーバンク	ノーバンク		J-138	光本 聡	トヨースキウエ	10	06	31
	2011-10-07	2011-10-07	KH60-052						光本 聡	倉谷リース	10	07	31
	2011-10-07	2011-10-07	KH60-053						光本 聡	倉谷リース	10	07	31
	2011-10-05	2011-10-05	SP121-653066						青藤 治志	神田運輸所	10	05	08
	2011-10-05	2011-10-05	SP121-653064						青藤 治志	神田運輸所	10	05	08
備北	2011-10-06	2011-10-06	8FD26-12780	1070					金子 秀明	芦田通入	10	06	27
西条	2011-10-07	2011-10-07	7FB18-47120	1220					矢口 伸久	東洋製罐	10	07	31

"各種帳票"の「出庫点検票」をクリックすることで表示されます。
 (画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「出庫点検票」をクリックしても表示されます)
 3営業日以内に在庫予定の機台が表示されます。

<2-7-3> LF21で入力されたデータのエラーをチェックする

注文管理No	フレームNo	契約期間開始	契約期間終了	入力営業所	入力担当者	入力日
300110490001	8FDL18-30508			広島	岩見 寿	2011-04-01
300110500003	7FB18-38727			広島	向島 浩亨	2011-09-31
300111020002	7FDL18-26520			福山	押川 剛	2011-10-11
300100600009	414262			尾道	真経 隆之	2010-06-29
300111030003	5FB18-14175			府中	岩崎 修寛	2011-10-31
470111030003	6FBRS14-30144			浜田	杉原 麻里子	2011-10-20

"各種帳票"の「エラーリスト」をクリックすることで表示されます。
 (画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「エラーリスト」をクリックしても表示されます)

各エラーはタブで区切られていますので目的のリストをクリックしてください。

このエラーリストで表示されるエラーは以下の5点です。

ただし、これらのエラーは当システムからでは修正できません。必ずLF21で修正を行ってください。

○契約期間の未入力

契約の開始、終了またはその両方が未入力のデータ

○契約期間の重複

同じ機台に対する予約が重複しているデータ

(重複しているデータを色付けして表示します)

※過去の契約は表示対象外としています

○存在しないコードの指定

存在しないフレームNo、備品コードで予約されているデータ

※過去の契約は表示対象外としています

○承認前の出庫

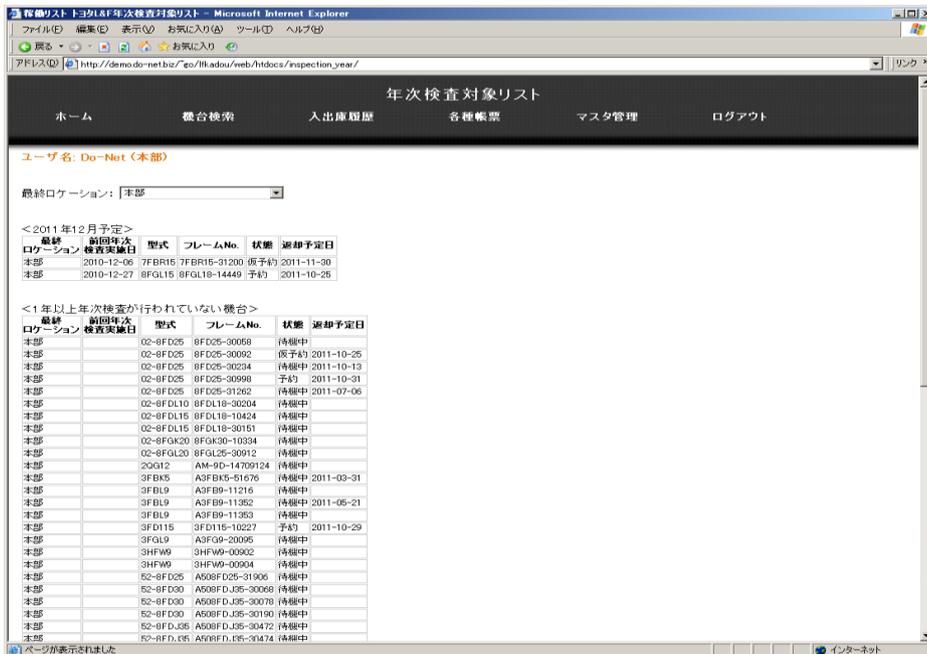
承認前に出庫されたデータ

(出庫後であっても承認されればエラーリストからはずれません)

○契約期間外の出庫

契約期間以外で出庫されたデータ

<2-7-4> 年次検査を行う機台を確認する



"各種帳票"の「年次検査対象リスト」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「年次検査対象リスト」をクリックしても表示されます)

翌月、年次検査を行う予定の機台リストです。

最終ロケーションを選択することができます。(全ロケーションを選択することで全ての対象機台が表示されます)

また、下部には1年以上、年次検査が行われていない機台及び、年次検査実施の記録がない機台のリストが表示されます。

<2-7-5> 月次検査を行う機台を確認する



"各種帳票"の「月次検査対象リスト」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「月次検査対象リスト」をクリックしても表示されます)

翌月、月次検査を行う予定の機台リストです。

最終ロケーションを選択することができます。(全ロケーションを選択することで全ての対象機台が表示されます)

また、下部には1ヶ月以上、月次検査が行われていない機台及び、月次検査実施の記録がない機台のリストが表示されます。

<2-7-6>稼働実績を確認する

稼働状況確認

ホーム 機台検索 入出庫履歴 各種帳票 マスタ管理 ログアウト

ユーザー名: Da-Net (本部)

商品区分: [全区分] 日付範囲を選択: [] ~ [] 確認

※ 日付範囲の片方のみデータが入力された場合は日付に関係なくその月のデータが表示されます。両方とも空白の場合は今月のデータが表示されます。

< 報告数値 > 2011/11/01 ~ 2011/11/30

当月末保有台数	レンタル保有台数	A	801 台
	内、F/A保有台数	B	599 台
当月発生レンタル件数		C	9 件
当月発生レンタル日数		D	245 日
当月保有車在籍延日数		E	26630 日
当月貸渡延日数		F	5987 日
内訳	レンタル	G	5987 日
	サービス代車	H	該当データなし
	デモ車	I	該当データなし
	新車納入までの代車	J	該当データなし
	その他	K	該当データなし

<< 参考 >>

稼働率	F/E	23.18 %
1件当たり日数	D/C	27.22 日
長期レンタル	-	74 件

TOYOTA L&F

copyright(C) TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION. All rights reserved.

"各種帳票"の「稼働実績集計表」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「各種帳票」にマウスを合わせ「稼働実績集計表」をクリックしても表示されます) レンタルの稼働実績を表示します。

”商品区分”と”日付範囲”を入力後、「確認」ボタンをクリックしてください。

日付範囲のどちらか片方にのみ日付を指定した場合は日付に関係なくその月のデータが表示されます。

また、日付範囲のどちらもデータが入力されていない場合はその月のデータが表示されます。

各項目は以下の条件で抽出されます。

○レンタル保有台数

リストを表示した時点でのレンタル保有台数

○当月発生レンタル件数

日付範囲内に売上承認された予約の件数

○当月発生レンタル日数

日付範囲内に売上承認された予約のレンタル日数 (契約開始から契約終了まで) の合計

○当月保有車在籍延日数

日付範囲で指定された日数×レンタル保有台数

○当月貸渡延日数

日付範囲内でレンタル車を貸し出した日数 (社有車 (サービス代車、デモ車等) も含まれる)

※以下、内訳は省略

○稼働率

当月貸渡延日数÷当月保有車在籍延日数 (当月貸渡延日数には社有車 (サービス代車、デモ車等) を含まない)

○1件当たり日数

当月発生レンタル日数÷当月発生レンタル件数

○長期レンタル

1年以上のレンタル契約のうち、契約期間が1日でも日付範囲に含まれるもの

<2-8>当システムの運用管理を行う



画面上部「マスタ管理」をクリックすることで表示されます。

各管理項目をクリックすることでそれぞれの機能を使用することができます。

(画面上部の「マスタ管理」にマウスを合わせると各項目を直接呼び出すことができます)

<2-8-1>ログインユーザの管理を行う



"マスタ管理"の「ログイン管理」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「マスタ管理」にマウスを合わせ「ログイン管理」をクリックしても表示されます)

当システムを使用することができるユーザを設定できます。

"現在の有効フラグ"が"有効"になっているユーザのみ当システムにログインできます。

変更する場合には「変更する」ボタンをクリックし、変更を行ってください。

右側部分に条件を設定し、表示されるデータを制限できます。

(条件に入力するデータは語句の一部だけでも検索できます)

<2-8-2>各営業所で使用する BHT 端末を管理する



"マスタ管理"の「BHT 拠点関連付け」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「マスタ管理」にマウスを合わせ「BHT 拠点関連付け」をクリックしても表示されます)

新規に BHT 端末を登録する場合は「新規 BHT 端末の登録」ボタンをクリックしてください。

拠点を変更する際には「変更」ボタンをクリックし変更を行ってください。「削除」ボタンをクリックすると登録している BHT 端末を削除できます。

※BHT 端末 ID は本体裏側のバーコード下にある 16 桁の番号です。

右側部分に条件を設定し、表示されるデータを制限できます。

(条件に入力するデータは語句の一部だけでも検索できます)

<2-8-3>機台情報を修正する



"マスタ管理"の「機台情報修正」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「マスタ管理」にマウスを合わせ「機台情報修正」をクリックしても表示されます)

修正できる機台情報は機台の現在の状態と最終ロケーションです。

これらの項目は本来、BHT 端末でバーコードを読み込むことで自動更新されます。ただし BHT 端末で処理ができた

かった時のみご使用ください。

なお、「自社保有」「借物件」「備品」でページが分かれていますので、目的のページを表示させて処理を行ってください。

右側部分に条件を設定し、表示されるデータを制限できます。
(条件に入力するデータは語句の一部だけでも検索できます)

<2-8-4>LF21に入力されている最新情報を取得する



"マスタ管理"の「LF21 同期」をクリックすることで表示されます。

(画面上部の「マスタ管理」にマウスを合わせ「LF21 同期」をクリックしても表示されます)

この処理は毎朝行われるバッチ処理のみを手動で実行します。約5分おきに実行されるバッチ処理については、こちらから実行はされません。処理は5分から10分ほど掛りますので、その間しばらくお待ち下さい。

4. 中継プログラム（LFRelayBHT）での処理

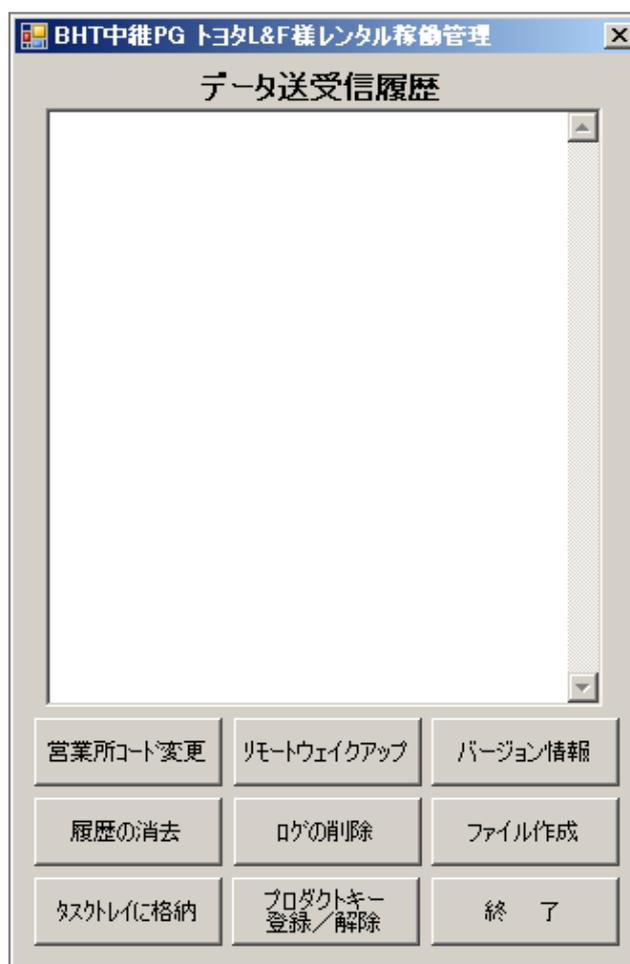
（1）概要

このプログラムはPCの電源を入れると自動的に実行されます。

普段はタスクトレイに入っていますので操作を行う際にはタスクトレイのアイコンをダブルクリックし、下記画面を表示してください。

通常は使用することのない機能ばかりですがこのプログラムが実行されていないとBHT端末とPCの間でデータのやり取りが行われませんので終了しないでください。

（2）画面構成と機能



営業所コード変更

このプログラムが実行されている営業所を選択してください。

ここで選ばれた営業所の情報はPCに送られ、データが入力された営業所を特定するのに使われます。

リモートウェイクアップ

BHT端末の電源を自動で入れ、ファイルを転送します。

この機能は特に実行しないでも5分に1回自動で実行されます。

バージョン情報

LFRelayBHT のバージョン情報を表示します。

履歴の消去

データ送受信履歴欄に表示されている履歴を消去します。
履歴を消去してもデータは削除されません。

ログの削除

BHT 端末から送られたデータ、BHT 端末に送ったデータを削除します。
この機能は特に実行しないでも 1 日に 1 回自動で実行されます。

ファイル作成

BHT 端末に送るデータを作成します。
普段は 1 日に 1 回自動で実行されていますが、新しく BHT 端末を購入した際に必要になる機能です。

タスクトレイに格納

プログラムは終了させず、タスクトレイに格納します。

プロダクトキー登録/解除

LFRelayBHT のプロダクトキーの登録または解除を行います。
一度登録したプロダクトキーは通常、解除する必要はありません。
プロダクトキーの管理については管理者にお問い合わせください。

終了

プログラムをタスクトレイには格納せず終了します。
データ送受信履歴欄にエラー表示が続けて表示され、自動送信がされていない時のみ終了させてください。
普段はこのプログラムを終了させないでください。

5. その他

(1) システムの環境

当システムは.NET Framework 2.0.50727 を利用しています。BHT 端末を接続する PC に該当フレームワークが存在しない場合にはインストールを行ってください。

(CD 内 relay¥dotnetfx.exe を実行するとインストールが行えます)

(2) BHT 端末を接続する PC の設定

以下の手順で BHT 端末を接続する PC の設定を行ってください。

①relay¥copy_relay_dir.bat を実行

※バッチで実行される内容

- ・フォルダ、ファイルのコピー
- ・レジストリの変更
- ・サービス (LFRelay Downloader、LFRelay Uploader) の登録
- ・上記サービスを自動実行に変更

②稼働用プログラム (LFRelayBHT.exe) をスタートアップに登録 (タスクスケジュールに追加でも可)

※備考①参照

※稼働用プログラム (LFRelayBHT.exe) は C:¥lfkadou_relay_bht¥pg 内にあります

③Active USB-COM ポートドライバをインストール

※備考②参照

※CD 内に ActiveUSBCOM_J20012.zip を用意しております

(最新版につきましては株式会社デンソーウェブの HP をご確認ください)

※インストール後、コンピュータの管理→デバイスマネージャより

DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM X)の X 部分 (使用されるポート番号になります)
を確認し、以下のレジストリに設定する

レジストリエントリ : HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ToyotaLF-RentalKadou¥com_port

※備考③④参照

④BHT-904B 転送ユーティリティをインストール

※CD 内に BHT-BASIC40_Development_Pack_R19.ZIP を用意しております

(最新版につきましては株式会社デンソーウェブの HP をご確認ください)

※BHT-904B 転送ユーティリティの「オプション」 → 「通信オプション設定」 から通信ポートを③で確認した値に変更する

※BHT-904B 転送ユーティリティは試用版になります

(30 日限定版ですが転送は 1 度だけでするので問題ありません)

⑤LFRelayBHT で営業所コードを設定

⑥LFRelayBHT でデータ転送を行うためのプロダクトキー登録

※C:¥lfkadou_relay_bht¥pg 内に ProductKeyRegistration.bat というファイルがありますので起動して頂き、プロダクトキーを入力し、登録して下さい

(3) BHT 端末の設定

以下の手順で BHT 端末の設定、ファイルの転送を行ってください。

①日付の設定

※初回起動時や長時間電源を入れなかった場合には BHT 端末起動時に入力画面が表示されます

②元々あるファイルの削除

1. 「1」と「SF」を押しながら電源を入れます。
2. 「SF」を押しながら「0」を押します。
3. カーソルキーでファイルを選択し、「ENT」を押します。
4. 確認画面が出ますのでそのまま「ENT」キーを押します。
5. 「BS/C」を長押しするとファイルの一覧に戻りますのですべてのファイルを削除してください。

③必要なファイルの転送

1. 「1」と「SF」を押しながら電源を入れます。
2. 2:DOWNLOAD を選択します。
3. 1:FILE を選択し、BHT 端末を CU に戻します。
4. BHT 端末が接続された PC で BHT-BASIC4.0 Transfer Utility を起動します。
5. C:\fkkadou_relay_bht\toBHT にある"kadou.PD4", "BHTRMT.PD4", " myRmt.PD4", "myRmt2.PD4", "IODATA.DAT", "prevUser.dat"を BHT に転送します。

(起動した BHT-BASIC4.0 Transfer Utility の白い画面にファイルをドラッグしてください)

※PC の環境によっては C:\fkkadou_relay_bht\toBHT フォルダには拡張子が FLD のものが表示されますが、これらのファイルは転送しないでください

④BHT 端末の設定

1. 「1」と「SF」を押しながら電源を入れます
2. 4:SET SYSTEM を選択します
3. 1:EXECUTE PROGRAM を選択します
4. KADOU.PD4 を選択します
(この作業を行うと BHT の電源を入れた際に自動でプログラムが実行されます)
5. 「BS/C」を長押しし、元の画面に戻してから「SF」を押しながら「4」を押します
6. 本体下部の矢印キーの左右を使い 1:REMOTE WAKEUP を ON に 2:TRANSMIT SPEED を 115200 に設定します

(この作業を行うと PC から BHT の電源を入れることができるようになります)

⑤必要なファイルの作成

1. タスクトレイに常駐している LFRelayBHT.exe をダブルクリックし、フォームを表示します
2. 「ファイル作成」ボタンをクリックします
3. 最大で5分待ちます
(リモートウェイクアップが実行されると自動的に作成したファイルが BHT 端末に転送されます)

⑥BHT 端末と拠点の関連付け (3. Web ページでの処理 < 2-8-2 >参照)

6. FAQ

(1) バーコードリーダー (BHT 端末) に関して

内 容	原 因	対 策
勝手に電源が切れる	何もしないで 3 分経過すると自動で電源が切れます	BHT 端末の仕様です。 3 分以内に何かキーを押せば電源が切れることはありません。 なお、自動で電源が切れた場合、再度電源を入れると電源が切れる前の画面が表示されます。
キー操作音がうるさい	—	以下の手順で音量の変更をして下さい。 1. BHT 端末の電源を入れる 2. M1 ボタンを長押しする 3. カーソルキーの左キーを操作し音量を下げる 4. BS/C キーを長押しして元の画面に戻す ※音量は 3 段階と無音があります
バイブレーションを使いたい	—	以下の手順でバイブレーションの設定をして下さい。 1. BHT 端末の電源を入れる 2. M1 ボタンを長押しする 3. カーソルキーの下キーを操作しバイブレーションに合わせる 4. カーソルキーの左キーを押して ON に設定する 5. BS/C キーを長押しして元の画面に戻す ※OFF に設定することもできます
バックライトの点灯時間を変更したい	—	以下の手順で点灯時間の変更をして下さい。 1. BHT 端末の電源を入れる 2. M1 ボタンを長押しする 3. カーソルキーの下キーを操作し省電力に合わせる 4. カーソルキーの左右キーを押して設定する 5. BS/C キーを長押しして元の画面に戻す ※1 秒単位に最大 30 秒まで設定できます
バックライトの明るさを変更したい	—	以下の手順で明るさの変更をして下さい。 1. BHT 端末の電源を入れる 2. M1 ボタンを長押しする 3. カーソルキーの下キーを操作し明るさに合わせる ※画面が切り替わるまで下に進んで下さい 4. カーソルキーの左右キーを押して設定する 5. BS/C キーを長押しして元の画面に戻す ※明るさは 5 段階と消灯があります
充電ができない	本体のスイッチが正しくない	本体裏側の電池ボックスを開け、電池を抜いたところにスイッチがあります。 スイッチを下側 (Ni-MH 側) に設定します。
	USB ポートが正しくない	CU (充電器を兼ねた BHT 端末のスタンド) をインストールを行った USB ポートに挿し直して下さい。

(2) Web ページに関して

内 容	原 因	対 策
ログインできない	ID またはパスワードが違う (画面に「ID またはパスワード が違います」と表示されます)	LF21 で使用しているログイン ID および、パスワード を使用して下さい。
	ログインが許可されていない (画面に「無効なユーザです」 と表示されます)	管理者に連絡し、ログイン管理を行ってもらって下さい。 (<2-8-1>参照)
	ホームを参照する権限がない 画面に「このページは表示でき ません」と表示されます)	管理者に連絡し、ページ権限割り当てを変更してもら って下さい。(ホームに対する権限を「参照不可」以外 にする必要があります)
勝手にログオフされる	長時間操作をしない場合、ログ オフされることがあります	ログオフ画面が表示されますので「ログインページ」 をクリックしログインし直して下さい。
画面上部のメニューがグ レー表示になって選択で きない	参照、変更の権限がありません ※職制によって権限が割り振っ てあります	管理者に連絡し、権限を変更してもらって下さい。 権限は各ページ毎に設定されており、それぞれ 参照不可：ページを表示することができません 参照のみ：ページの表示はできますが、「登録」や 「変更」等はできません フル操作：全ての操作が可能です のいずれかが設定されています。
「登録」「変更」等のボタ ンをクリックできない		
メニューの上にページ上 の項目 (ボタンなど) が表 示される	インターネットエクスプローラ 6及び7の不具合です	他のブラウザを使用すると解消されますが、セキュリ ティや他のソフトとの関係もありますので、管理者と ご相談下さい。
代車等の予約を行う際、貸 出先が表示されない	貸出先件数が多く、データの作 成に時間がかかるため、初期状 態では表示しておりません	右側にある「検索」ボタンをクリックすると選択でき るようになります。 その際、貸出先の企業名の一部でも入力しておくこと で選択肢を減らすことができます。 ※全角と半角は区別されます
入出庫履歴に営業所名が 表示されない	BHT 端末と拠点に関連付けさ れていません	BHT 拠点関連付けを行って下さい。 (<2-8-2>参照)
入出庫履歴に担当者名が 表示されない	BHT 端末でバーコードを読み 取る際、存在しない利用者を指 定した ----- 担当者が退職した	入出庫履歴の担当者は変更できません。
エラーリストに表示され たデータを LF21 で修正し てもエラーリストに反映 されない	LF21 のデータが反映されるま でに5～10分かかります	しばらく待っていただき、再度ご確認下さい。
BHT 端末で入力したデー タが反映されない	BHT 端末のデータが反映され るまで5～10分かかります	しばらく待っていただき、再度ご確認下さい。
	BHT 端末で正しくデータが読 めていない	BHT 端末の登録情報を確認して頂き、正しく登録され ていない場合には再度読み込みを行って下さい。

(3) 中継プログラム (LFRelayBHT) に関して

内 容	原 因	対 策
起動しない	起動中に同時に2つ目の起動はできません	windows の画面右下 (タスクトレイ) を確認し、アイコンが表示されえていれば起動中です。 タスクトレイにあるアイコンをダブルクリックするとアプリケーションが表示されます。
エラーが連続して表示され、稼働していない	BHT 端末との通信に失敗し、修復できていない	LFRelayBHT を終了して頂き、起動し直して下さい。 その際、BHT 端末の電源が切れた状態で CU (充電器を兼ねた BHT 端末のスタンド) に正しくセットしてあることを確認して下さい。
ファイル転送時にエラーになる	BHT 端末の電源が入っている	転送時には BHT 端末の電源を切って下さい。 ※BHT 端末から”最新の情報に更新”を行った場合は電源を切る必要はありません
	BHT 端末が正しくセットされていない	CU (充電器を兼ねた BHT 端末のスタンド) に正しくセットしてあることを確認して下さい。 ※充電ランプが点灯していれば正しくセットされています ※ストラップにご注意下さい
	FLD ファイルが存在しないか変更されている ※隠しファイルになっていますので存在していないのではなく、表示されていないだけかもしれません	C:\¥lfkadou_relay_bht¥dl の中に隠しファイルとして employee.FLD、frame.FLD、master.FLD というファイルが存在しています。 もし消去、変更されている場合は納品 CD に含まれる同ファイルをコピーして下さい。 (CD 内 ¥relay¥toBHT にあります)
自動更新されない	BHT 端末でリモートウェイクアップ (※) が許可されていない	BHT 端末のリモートウェイクアップを許可して下さい。(< (3) BHT 端末の設定 ④ > 参照)
	インストールを行ったのとは違う USB ポートに接続している	初めにインストールを行った USB ポートに接続して下さい。

※リモートウェイクアップ... LFRelayBHT から BHT 端末の電源を入れる機能

(4) その他

内 容	原 因	対 策
BHT-BASIC4.0 Transfer Utility を使ったデータ転送ができない	LFRelayBHT が起動している間は使用できません	LFRelayBHT を終了して頂き、BHT-BASIC4.0 Transfer Utility を起動し直して下さい。
LFRelayBHT をスタートアップに登録する方法が分からない	—	下記 備考①参照
Active USB-COM ポートドライバのインストール方法が分からない	—	下記 備考②参照
ポート番号の確認方法が分からない	—	下記 備考③参照
レジストリの値の設定方法が分からない	—	下記 備考④参照

備考① LFRelayBHT をスタートアップに登録する

※この処理を行うと windows を起動した際に自動的に LFRelayBHT が起動されます

1. windows スタートメニューをクリックし「プログラム」にマウスを合わせます
2. 「スタートアップ」を右クリックし、「開く」をクリックします
3. C:\¥lfkadou_relay_bht¥pg にある LFRelayBHT.exe を右クリックし「コピー」をクリックします
4. 2. で開いたウィンドウ内で右クリックし、「ショートカットの貼り付け」をクリックします

備考② Active USB-COM ポートドライバのインストールを行う

※この処理を行うことで CU (充電器を兼ねた BHT 端末のスタンド) を PC で認識できるようになります
また BHT 端末の充電も行えるようになります

1. CD 内 ¥relay にある ActiveUSBCOM_J20012.zip を PC にコピーし、ダブルクリックします
2. setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します
※念のため全てのプログラムを終了しておくことをお勧めします
※USB ポートにはまだ CU を挿さないで下さい
※確認画面が出ますが、「続行」をクリックして進めて下さい
3. CU を USB ポートに接続します
4. 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されるまで待ち、
「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択して「次へ」をクリックします
※確認画面が出ますが、「続行」をクリックして進めて下さい
※違う USB ポートに CU を挿すと新しいハードウェアの検出ウィザードが再度出現します

備考③ ポート番号を確認する

1. マイコンピュータを右クリックします
2. 「管理」をクリックします
3. ウィンドウ左側で「デバイスマネージャ」をクリックします
4. ウィンドウ右側に表示される項目から「ポート (COM と LPT)」を展開します
5. DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM X)と表示されている X 部分を確認します

備考④ レジストリの値を設定する

※この処理を行うことで PC と BHT 端末での通信が可能となります

※レジストリを変更すると PC に致命的なエラーを与える可能性がありますので、ここで設定する以外の操作を行わないで下さい

※初期値として” 3 ”を設定していますので確認した番号が” 3 ”だった場合にはこの処理は必要ありません

1. windows スタートメニューをクリックし「ファイル名を指定して実行」をクリックします
2. 名前欄に” regedit ”と入力し、「OK」をクリックします
3. 表示されたレジストリエディタの左側部分で
HKEY_LOCAL_MACHINE→SOFTWARE→ToyotaLF-RentalKadou の順に展開します
4. 右側に表示される項目 (キー) の名前をダブルクリックすると「文字列の編集」ウィンドウが表示されますので値を設定し、「OK」をクリックします

※各キーの内容は以下の通りとなります

- com_port : PC と BHT 端末の通信に使う COM ポート番号 (設定をして下さい)
- download_dir : BHT 端末に転送するファイルの格納場所です (変更しないで下さい)
- download_url : BHT 端末に転送するファイルを作成するプログラムです (変更しないで下さい)
- office_c : PC が置かれているロケーションコードです (LFRelayBHT から変更できます)
- relay_bht_program : LFRelayBHT です (変更しないで下さい)
- split_time : BHT 端末にデータを自動で転送する時間間隔 (分) です (変更して頂いても構いません)
- upload_dir : BHT 端末から送られたデータの格納場所です (変更しないで下さい)
- upload_url : BHT 端末からデータを取得するプログラムです (変更しないで下さい)